

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【小学校国語】

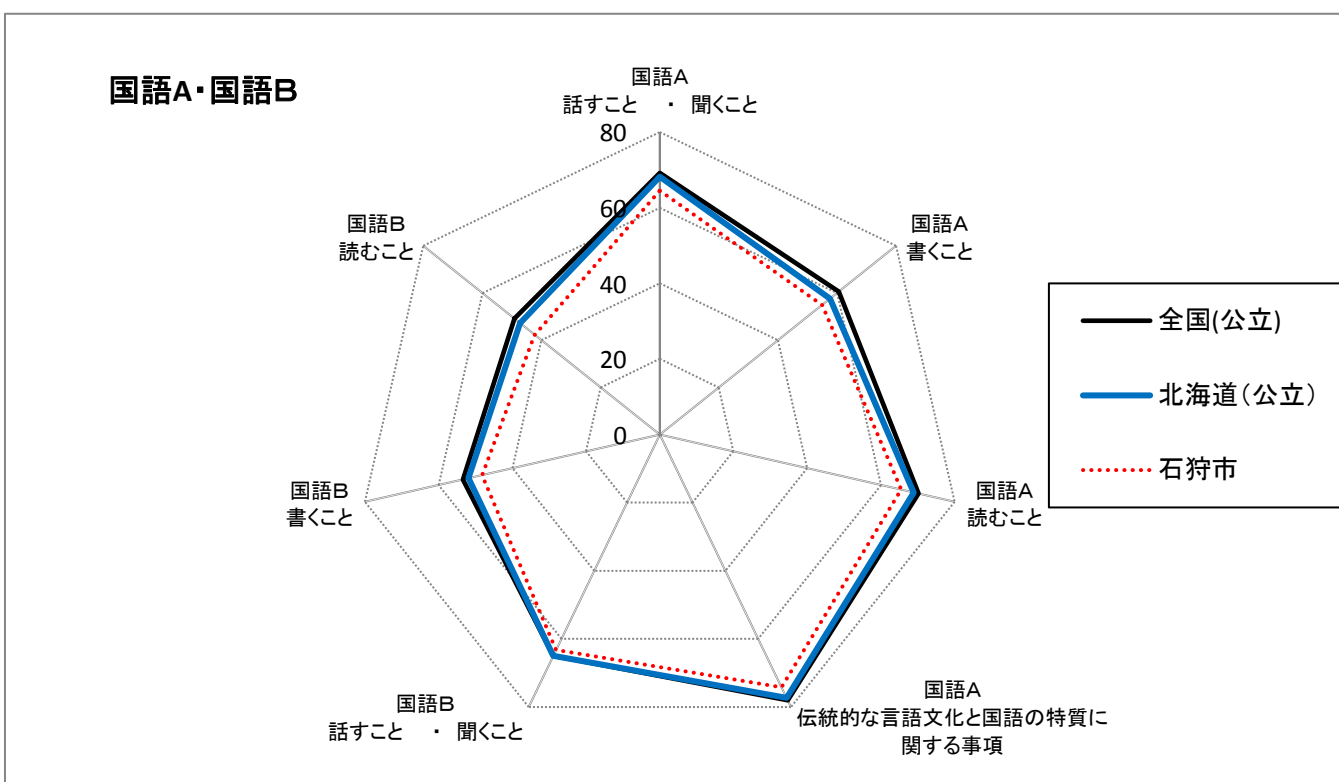
□ 正答率の状況 □

	国語A(主として「知識」に関する問題)		国語B(主として「活用」に関する問題)	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	11.2問/15問	74.8%	5.2問/9問	57.5%
全道(公立)	11.1問/15問	73.7%	5.1問/9問	56.3%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い	
	石狩市 : ○ 全国 : ☆				☆			○						☆					○

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 国語 領域別正答率グラフ □



□ 国語科の概要 □

- ◇ 国語Aは全道・全国よりやや低い結果となりました。昨年度より差が広がりました。
- ◇ 国語Bについては全道よりやや低く、全国よりも低い結果となりました。昨年度より全国との差がわずかに縮まりました。
- ◇ 国語Aでは「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全ての領域で全道・全国との差が広がりました。
- ◇ 国語Bでは「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国との差が縮まりましたが、「読むこと」の領域で全道・全国との差がわずかに広がりました。
- ◇ 問題形式の正答率では、国語Aで選択式が全道とほぼ同様(下位)で、全国よりやや低く、短答式では全道・全国よりもやや低い結果となりました。
- ◇ 国語Bで短答式が全道・全国と同様で、記述式が全道とほぼ同様(下位)で全国よりやや低い結果となりました。選択式は全道より低く、全国より相当低い結果となりました。

国語 A（主として「知識」に関する問題）

- 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題で構成されています。
- ・互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合う。
 - ・目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。
 - ・目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読む。
 - ・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。
 - ・設問数は15問です。

【各領域の傾向】

- ・「話すこと」「聞くこと」の領域は、全道・全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・「書くこと」の領域は、全道と比べほぼ同様（下位）で、全国より低い傾向を示しています。
- ・「読むこと」の領域は、全道・全国と比べやや低い傾向を示しています。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は、全道・全国よりやや低い傾向を示しています。

【成果の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
2一	お礼の気持ちを伝えるために、どのような内容を書いているのか、書かれている内容の説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く	書くこと	79.7%	79.0%	79.7%
4一	俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する	俳句の情景を捉える	読むこと 伝統的な言語文化	73.3%	77.9%	79.4%
7 (3)	漢字を読む (申しこみ期限)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	94.2%	95.4%	94.5%

【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
2二	手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する	手紙の構成を理解し、後付けを書く	書くこと	30.1%	36.2%	41.5%
7 (1)	漢字を書く (参加たいしょう)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	29.8%	39.1%	42.0%

【指導の改善にあたって】

【書くこと】

- ・日常生活において依頼状や案内状、礼状など、実用的な文章としての手紙を書く場を多く設定する。また、手紙を書く場を国語科だけでなく、他教科等の中でも意図的・計画的に設定し、繰り返し確実に書けるように指導することが大切です。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・学習した漢字を繰り返し書いて練習したり、漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中で正しく使うことができるように指導することが大切です。

国語 B (主として「活用」に関する問題)

- 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題で構成されています。
- ・目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じて適切な言葉遣いで自分の考えを話す。
 - ・目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く。
 - ・物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる。
 - ・設問数は9問です。

【各領域の傾向】

- ・「話すこと・聞くこと」の領域は、全道・全国と比べほぼ同様（下位）の傾向を示しています。
- ・「書くこと」の領域は、全道と比べやや低く、全国より低い傾向を示しています。
- ・「読むこと」の領域は、全道・全国より低い傾向を示しています。

【成果の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1 二	グループの話合いの中で、石田さんたちは、スピーチメモを使うことのよさについてどのように考えているかについて書く	話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える	話すこと 聞くこと	69.3%	69.1%	69.2%
3 三	「きつねの写真」から取り上げた言葉や文を基に、松ぞうじいさんととび吉がきつねだと考えたわけをまとめて書く	物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる	書くこと 読むこと	40.9%	41.6%	43.7%

【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
2 三	「水やりに協力してくれる人をば集めます」の「イ」に入る内容を、中学生からの【アドバイス】を基に書く	目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く	書くこと	29.6%	32.8%	33.0%
3 二	「きつねの写真」を読んだあとの話合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する	自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える	読むこと	18.2%	27.7%	28.0%

【指導の改善にあたって】

【書くこと】

- ・読み手に自分の考えが伝わるような文章を書くためには、目的や意図に応じ、取材した情報から必要な内容を整理し、簡潔に書けるように指導することが大切です。

【読むこと】

- ・ものの見方や考え方を広げるために、実際に物語を読んで感想を伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付かせ、自分の考えを広げたり深めたりすることができるように指導することが大切です。

【教科に関する意識（質問紙の傾向）】

- ・「国語の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の60.9%、全国の60.5%に対して石狩市は55.3%で、全道より5.6ポイント、全国より5.2ポイント低くなっています。
- ・「国語の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の91.4%、全国の91.2%に対して石狩市は87.8%で、全道より3.6ポイント、全国より3.4ポイント低くなっています。
- ・「国語の授業内容はよく分かりますか」に対する肯定的な回答は、全道の82.2%、全国の82.2%に対して石狩市は77.7%で、全道・全国より4.5ポイント低くなっています。

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【小学校算数】

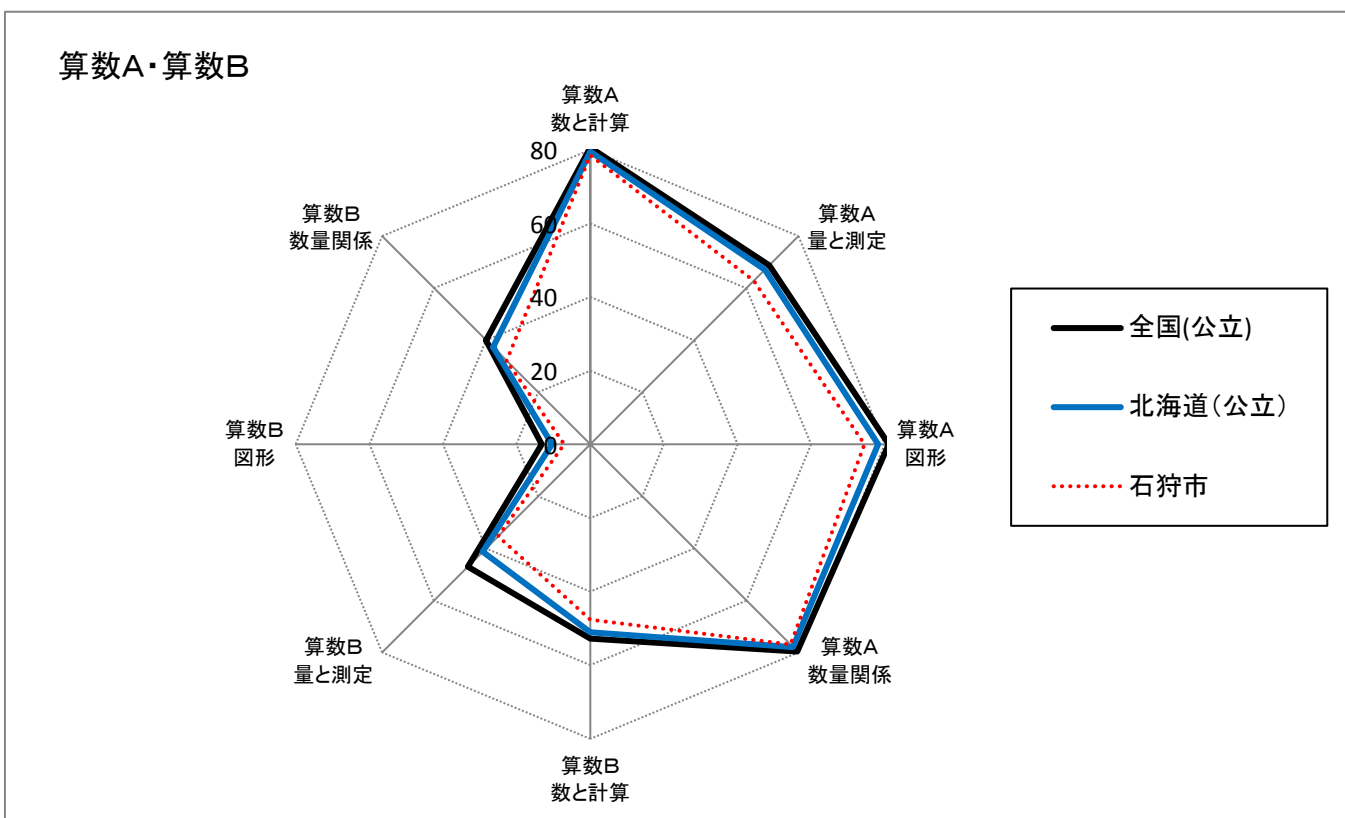
□ 正答率の状況 □

	算数A(主として「知識」に関する問題)		算数B(主として「活用」に関する問題)	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	11.8問/15問	78.6%	5.1問/11問	45.9%
全道(公立)	11.6問/15問	77.3%	4.8問/11問	43.5%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様 (上位)	同様	ほぼ同様 (下位)	やや低い	低い	相当低い	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様 (上位)	同様	ほぼ同様 (下位)	やや低い	低い	相当低い	
	石狩市 : ○ 全国 : ☆				☆		○							☆					○

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様… -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様 … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 算数 領域別正答率グラフ □



□ 算数科の概要 □

- ◇ 算数Aの平均正答率は、全道とほぼ同様（下位）で、全国よりもやや低い結果となりました。昨年度より全道・全国より差が縮まりました。
- ◇ 算数Bの平均正答率は、全道・全国よりも低い結果となりました。昨年より差が広がりました。
- ◇ 算数Aでは、「数と計算」「数量関係」で全道・全国と差が縮まり、「量と測定」「図形」で差が広がりました。
- ◇ 算数Bでは「量と測定」「図形」「数量関係」で全道・全国との差が広がりました。

算数 A (主として「知識」に関する問題)

- 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題で構成されています。
- ・ 1 より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、それぞれの数量が数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ。
 - ・ 任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ。
 - ・ 円を使って正五角形をかくとき、円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかを書く。
 - ・ 二次元表の合計欄に入る数を書く。
 - ・ 設問数は15問です。

【各領域の傾向】

- ・ 「数と計算」の領域は、全道・全国と比べ、ほぼ同様（下位）の傾向を示しています。
- ・ 「量と測定」の領域は、全道と比べやや低く、全国より低い傾向にあります。
- ・ 「図形」の領域は、全道と比べやや低く、全国より低い傾向にあります。
- ・ 「数量関係」の領域は、全道・全国と比べ、ほぼ同様（下位）の傾向を示しています。

【成果の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1 (1)	リボンを2m買ったときの代金と3m買ったときの代金を書く	具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解している	数と計算 数量関係	96.2%	96.9%	96.9%
7	立方体の展開図から、示された面と平行な面を選ぶ	立方体の面と面の位置関係を理解している	図形	82.9%	85.9%	86.7%
9 (1)	出席番号1番の人は二次元表のどこに入るかを選ぶ	資料を二次元表に分類整理することができる	数量関係	86.4%	88.2%	88.0%

【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
2 (4)	$5 \div 9$ の商を分数で表す	商を分数で表すことができる	数と計算	65.1%	67.1%	69.2%
5	示された平行四辺形の面積の、半分の面積である三角形を正しく選ぶ	高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解している	量と測定	60.7%	65.5%	67.0%
6	円を使って正五角形をかくとき、円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかを書く	正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成できることを理解している	図形	66.0%	70.4%	75.5%

【指導の改善にあたって】

【数と計算】

- ・ $a \div b$ の商を $\frac{a}{b}$ という分数で表したり、 $\frac{a}{b}$ を $a \div b$ と表したりすることで、除法の被除数、除数が商の分子・分母となる関係を確実に理解できるように指導することが大切です。

【量と測定】

- ・ 底辺の長さが高さがそれぞれ等しい平行四辺形と三角形においては、図形の向きや形に依存せずに、三角形の面積は平行四辺形の面積の半分であることを理解させることが大切です。

【図形】

- ・ 円を用いて正多角形をかく活動を設け、その中で「正多角形は合同な二等辺三角形で構成されている」という性質を理解させることが大切です。

算数 B (主として「活用」に関する問題)

基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかをみる問題で構成されています。

- ・二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述する。
- ・料金の差を求めるために、示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述する。
- ・示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら解釈し、それを記述する。
- ・身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述する。
- ・設問数は11問です。

【各領域の傾向】

- ・「数と計算」の領域は、全道と比べやや低く、全国より低い傾向を示しています。
- ・「量と測定」の領域は、全道と比べ低く、全国より相当低い傾向にあります。
- ・「図形」の領域は、全道と比べやや低く、全国より低い傾向を示しています。
- ・「数量関係」の領域は、全道と比べ低く、全国より相当低い傾向を示しています。

【成果の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1 (1)	カードの差が4の場合の、2けたのひき算の式と答えを書く	示された条件を基に、適切な式を立てることができる	数と計算	74.9%	75.6%	76.0%
5 (1)	「最小の満月の直径」の図に対して、「最大の満月の直径」の割合を正しく表している図を選ぶ	示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断できる	数量関係	63.1%	64.4%	65.0%

【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
2 (2)	13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を3等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く	直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用することができる	数と計算	19.8%	25.0%	27.4%
3 (2)	仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める	仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述できる	量と測定 数量関係	11.3%	18.4%	26.1%
5 (2)	与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く	身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述できる	図形 数量関係	7.1%	10.4%	13.2%

【指導の改善にあたって】

【数と計算】

- ・三等分する点を見つける方法を、言葉・数・式・図などと対応させながら理解させていくことが大切です。

【量と測定・数量関係】

- ・測定値の平均を求める際には、平均がおよそどのくらいになるかを見積もったり、能率的に処理する方法を考えさせ計算させていくことが大切です。

【図形・数量関係】

- ・日常生活の事象を割合を活用して解釈するためには、数量の関係を身近なものや図などに置き換えて、基準量・比較量・割合の関係を的確に理解できるように指導していくことが大切です。

【教科に関する意識（質問紙の傾向）】

- ・「算数の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の63.9%、全国の65.9%に対して石狩市は62.8%で、全道より1.1ポイント、全国より3.1ポイント低くなっています。
- ・「算数の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の91.3%、全国の92.0%に対して石狩市は91.2%で、全道より0.1ポイント、全国より0.8ポイント低くなっています。
- ・「算数の授業の内容はよくわかりますか」に対する肯定的な回答は、全道の77.9%、全国の80.6%に対して石狩市は77.0%で、全道より0.9ポイント、全国より3.6ポイント低くなっています。